

関係代名詞③

例①

The man is Takuya.

その男性はタクヤだ。

この文から、

The man

を抜き出す (後の is Takuya は無視)

この

The man

↑ だけに着目して

私は昨日彼に会った。

↑ という英文を作ると、

I met him yesterday.

となる。

↑ この I met him yesterday.

という文は、

The manに関する文なので、

The manの直後にくっつける。

すると、

The man I met him yesterday
となり、

is Takuya を戻すと

The man I met him yesterday
is Takuya. となる。

この I met him yesterday. という文に、
The man を修飾させるには、このま
まではダメなので、

以下の表に基づいて関係代名詞
に変換する。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
彼	he	his	him	his
関係代名詞	who	whose	who	whose

↑ him に対応する関係
代名詞は who なので

The man I met **who** yesterday is
Takuya. となる。

しかし、今回はこれだけでは、まだダメだ。

関係代名詞が目的格の場合は、

The man I met who yesterday

としたのち、さらに、

The man who I met yesterday

と関係代名詞を The man の直後に持ってくる必要がある(関係代名詞は常に修飾したい語句の直後に持ってくる考える)。

これで、

The man who I met yesterday is Takuya. となり。

I met him yesterday.に The man を修飾させることができた。

これを

関係代名詞の後ろから訳すと
(関係代名詞そのものは訳さない)。

関係代名詞 who の後ろから

The man who I met yesterday.

男性

私が昨日会った



「私が昨日会った男性」

となり、

The man who I met yesterday
is Takuya.

私が昨日会った男性はタクヤだ。

となるね。

これでいいのだけど、関係代名
詞が**目的格**のときは、もう1つ知っ
ておくべきことがある。

それは、関係代名詞が**目的格**の
場合は、関係代名詞を**省略**できる
ということだ。

だから、

The man **who** I met yesterday
is Takuya.

の **who** を省略して、

The man I met yesterday is Takuya.

とすることもできる。

目的格の関係代名詞は省略可

これは大事なので、覚えておくといい。逆にいえば、

Look at the boy **who** is playing soccer.

主格の関係代名詞の**who**や

I met a boy **whose** cap is blue.

所有格関係代名詞の**whose**は

いずれも省略できない。

ということだね。

※厳密には主格の関係代名詞も省略できる場合がある。

これは次のファイルで検討します。

とりあえず今は、

目的格関係代名詞

→省略可

主格・所有格関係代名詞

→省略不可

と覚えよう。

ではもう1問検討して、終わりにしましょう。

例②

I'm using **the chair.**

私はイスを使っている。

この文から、

the chair

を抜き出す (前の I'm using は無視)

この

the chair

↑ だけに着目して

彼がそれ(イス)を作った。

↑ という英文を作ると、

He made it.

となる。

↑ この He made it. という文は、

the chairに関する文なので、

the chairの直後にくっつける。

すると、

the chair he made it

となり、

I'm using を戻すと

I'm using the chair he made it .
となる。

この he made it. という文に、
the chair を修飾させるには、このま
まではダメなので、

以下の表に基づいて関係代名詞
に変換する。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
それ	it	its	it	its
関係代名詞	which	whose	which	whose

↑ it に対応する関係
代名詞は which なので

I'm using the chair he made **which**.
となる。

関係代名詞が目的格の場合はさらに、
which を the chair の直後に移動させて
I'm using the chair **which** he made.

これを

関係代名詞の後ろから訳すと

(関係代名詞そのものは訳さない)。

関係代名詞 which の後ろから

The chair which he made.

イス

彼が作った

「彼が作ったイス」

となって

I'm using the chair which he made.

私は「彼が作ったイス」を使っている。
となる。

which は目的格の関係代名詞なので、省略すると、

I'm using the chair he made. だね。

→関係代名詞④につづく